

仙台経済界

2007 7-8 590円

イオンが攻めて来る 仙台・食品SM戦争

スーパーマーケット

レポート
強かに推進する
岡田イオングループ①
仙台の現代お祈り事情
座談会
ビジョンづくりが急務の
泉中央駅エリア

隼電気 創立60周年を盛大に祝う

勝山館で



橋本要人 日本銀行前仙台支店長



中山智之 社の都信用金庫理事長



あいさつする平間修一社長と家族

地元電気工事業の中堅、隼電気(本社仙台市若林区、平間修一社長)の創業60周年記念式典が4月21日、仙台市青葉区の勝山館で480人が参加して開かれた。

式典では、中山智之・社の都信用金庫理事長が「隼電機の会社を訪問したとき、社員の皆さんがいつもきびきびしており、感銘を受けている。創業者である平間幸助氏の時代から絶対の信頼を寄せており、建設中の当社本社ビルの電気工事もちゅうちよなく仕事を依頼。今後も地域発展に寄与してほしい」と来賓を代表して祝辞を述べた。

この後、平間社長が「当社が60年保ったのは、戦後復興期であったこと、不動産収入で会社が安定したこと、パブル時に何もしなかったこと、先代の平間幸助社長から、業界団体ばかりでなくライオンズクラブなどを通し、また私自身もプライベートな交流会で仲間を増やし、仕事を拡大していったからだと思っっている。これからは明日に向かって進んでいきたい」とあいさつした後、大泉鉄之助仙台市議会議員の音頭で乾杯した。

式典に先立ち、橋本要人日本銀行前仙台支店長が「これからの仙台に望むこと」をテーマに講演、引き続き永年取引先として社の都信用金庫、戸部電材(株)、隼新和電設、隼電気社長室長の時田勝英氏が表彰を受けた。

